



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年10月31日
東

上場会社名 明和産業株式会社 上場取引所
 コード番号 8103 URL <https://www.meiwa.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 毅
 問合せ先責任者 (役職名) 主計財務部長 (氏名) 小林 敏弘 (TEL) 03-3240-9534
 四半期報告書提出予定日 2022年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	80,819	17.4	1,981	33.0	1,738	19.0	1,096	△12.3
2022年3月期第2四半期	68,819	17.3	1,489	50.0	1,461	90.5	1,249	95.1

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 2,567百万円(38.7%) 2022年3月期第2四半期 1,851百万円(28.3%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2023年3月期第2四半期	26	25	—	—
2022年3月期第2四半期	29	91	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	83,161	—	35,676	—	42.3	—
2022年3月期	76,415	—	35,967	—	46.7	—

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 35,201百万円 2022年3月期 35,680百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2022年3月期	—	47.00	—	72.00	119.00	—
2023年3月期	—	0.00	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	160,000	11.9	3,400	△0.1	3,000	△12.0	2,100	△12.8	50	28

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期2Q	41,780,000株	2022年3月期	41,780,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期2Q	16,892株	2022年3月期	16,869株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期2Q	41,763,127株	2022年3月期2Q	41,763,213株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報を前提としているものであり、実際の業績は今後の様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、景気は欧米及び中国においては減速傾向となったものの、我が国においては回復傾向となりました。各国で大きく異なる新型コロナウイルス感染症への対策、長期化するウクライナ情勢の影響、資源価格高騰による影響等、先行き不透明な状態が続いております。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は808億1千9百万円と前年同期の17.4%にあたる119億9千9百万円の増収、営業利益は19億8千1百万円と前年同期の33.0%にあたる4億9千2百万円の増益、経常利益は17億3千8百万円と前年同期の19.0%にあたる2億7千7百万円の増益となり、親会社株主に帰属する四半期純利益については10億9千6百万円と前年同期の12.3%にあたる1億5千3百万円の減益となりました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の1株当たり四半期純利益は26.25円となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・売上高については、第一事業、第二事業、第三事業が好調に推移したため増収となりました。
- ・営業利益については、売上高の増加による売上総利益が増加したことにより、販売費及び一般管理費の増加があったものの増益となりました。
- ・経常利益については、営業利益の増加、投資先からの受取配当金の増加等により、持分法による投資損失が増加したものの増益となりました。
- ・法人税等については、過年度減損処理した政策保有株式売却により無税化処理を行った前年度の反動等があったため増加しました。
- ・親会社株主に帰属する四半期純利益については、上記要因の結果、減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業及び第三事業の組織再編を行いました。第一事業は樹脂・難燃剤事業部の樹脂事業を第三事業に移管して難燃剤事業部に改称し、機能建材事業部を第三事業から編入致しました。第三事業は高機能素材事業部を三分割し、それぞれ高機能素材事業部、機能化学品事業部、第一事業から編入した樹脂事業と統合して合成樹脂事業部と致しました。

また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

なお、セグメントごとの主な事業、事業内容及び主な取扱商品は次のとおりであります。

セグメントの名称	主な事業	事業内容及び主な取扱商品
第一事業	資源・環境ビジネス事業 難燃剤事業 機能建材事業	レアアース・レアメタル、環境関連、金属関連 難燃剤 断熱材、防水材、内装材
第二事業	石油製品事業	潤滑油、ベースオイル、添加剤 海外事業
第三事業	高機能素材事業 機能化学品事業 合成樹脂事業 無機薬品事業	フィルム製品、印刷原材料 製紙薬剤、粘接着剤 合成樹脂原料、合成樹脂製品 無機薬品
自動車・電池材料事業	自動車事業 電池材料事業	自動車部品関連 電池材料

① 第一事業

売上高は、196億6千7百万円と前年同期の17.4%にあたる29億2千万円の増収、セグメント利益につきましては、6億9千万円と前年同期の95.9%にあたる3億3千8百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・資源・環境ビジネス事業は、資源関連、環境関連、金属関連ともに好調に推移しました。
- ・難燃剤事業は、需要が伸長し、好調に推移しました。
- ・機能建材事業は、断熱材や防水材は需要が持ち直し、好調に推移したものの、内装材は前年同期並に推移しました。

② 第二事業

売上高は、284億8千万円と前年同期の18.9%にあたる45億3千4百万円の増収、セグメント利益につきましては、9億1千7百万円と前年同期の1.8%にあたる1千6百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・国内向けベースオイル・添加剤及び中国向けベースオイル・添加剤は需要が伸長し、好調に推移しました。
- ・中国潤滑油事業は、冷凍機油は前年同期並に推移したものの、建機純正オイルは低調に推移しました。

③ 第三事業

売上高は、286億4千万円と前年同期の17.1%にあたる41億7千5百万円の増収、セグメント利益につきましては、5億4千2百万円と前年同期の25.9%にあたる1億1千1百万円の増益になりました。

これは主に各取引が以下の通り推移した結果によるものです。

- ・高機能素材事業は、フィルム製品及び印刷原材料が前年同期並に推移しました。
- ・機能化学品事業は、製紙薬剤は好調に推移したものの、粘接着剤は前年同期並に推移しました。
- ・合成樹脂事業は、合成樹脂原料、合成樹脂製品ともに前年同期並に推移しました。
- ・無機薬品事業は、好調に推移しました。

④ 自動車・電池材料事業

売上高は、32億円と前年同期の11.4%にあたる3億2千7百万円の増収、セグメント損失が、3億6千2百万円と前年同期から1億4千万円の減益（前年同期は2億2千1百万円の損失）になりました。

これは主に以下の通り推移した結果によるものです。

- ・自動車事業は、持分法適用会社において損失が増加したことにより、減益となりました。
- ・電池材料事業は、自動車用などの電池材料販売の売上が堅調に推移しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、831億6千1百万円と前連結会計年度末の8.8%にあたる67億4千5百万円の増加となりました。負債は、474億8千5百万円と前連結会計年度末の17.4%にあたる70億3千7百万円の増加となり、また、純資産は356億7千6百万円と前連結会計年度末の0.8%にあたる2億9千1百万円の減少となりました。

この結果、自己資本比率は42.3%となりました。

なお、主な要因は以下のとおりであります。

- ・総資産については、主に現金及び預金と売上債権の増加により、流動資産が前連結会計年度末の9.8%にあたる58億1千3百万円の増加となったことによるものであります。
- ・負債については、主に仕入債務と短期借入金の増加により、流動負債が前連結会計年度末の19.7%にあたる70億6千4百万円の増加となったことによるものであります。
- ・純資産については、主に剰余金の配当を行ったことにより、利益剰余金が前連結会計年度末の8.1%にあたる19億1千万円の減少となったことによるものであります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,255	9,235
受取手形、売掛金及び契約資産	44,995	48,056
商品	7,814	6,871
その他	1,388	1,128
貸倒引当金	△229	△253
流動資産合計	59,225	65,038
固定資産		
有形固定資産	1,168	1,156
無形固定資産	208	173
投資その他の資産		
投資有価証券	14,800	15,653
その他	1,036	1,162
貸倒引当金	△23	△23
投資その他の資産合計	15,813	16,792
固定資産合計	17,190	18,122
資産合計	76,415	83,161
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,197	29,844
短期借入金	5,787	10,440
1年内返済予定の長期借入金	—	500
未払法人税等	485	547
賞与引当金	681	593
その他	698	988
流動負債合計	35,850	42,915
固定負債		
長期借入金	590	193
役員退職慰労引当金	—	307
退職給付に係る負債	901	887
その他	3,106	3,181
固定負債合計	4,597	4,570
負債合計	40,448	47,485

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,024	4,024
資本剰余金	2,761	2,761
利益剰余金	23,655	21,745
自己株式	△4	△4
株主資本合計	30,437	28,527
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,642	3,771
繰延ヘッジ損益	17	18
為替換算調整勘定	1,770	3,045
退職給付に係る調整累計額	△186	△161
その他の包括利益累計額合計	5,242	6,674
非支配株主持分	287	474
純資産合計	35,967	35,676
負債純資産合計	76,415	83,161

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	68,819	80,819
売上原価	63,687	74,823
売上総利益	5,132	5,995
販売費及び一般管理費	3,643	4,014
営業利益	1,489	1,981
営業外収益		
受取配当金	194	204
その他	51	70
営業外収益合計	245	274
営業外費用		
支払利息	30	65
外国源泉税	41	140
持分法による投資損失	175	185
その他	25	126
営業外費用合計	273	517
経常利益	1,461	1,738
特別利益		
負ののれん発生益	—	25
その他	183	5
特別利益合計	183	30
特別損失		
投資有価証券売却損	—	0
その他	4	—
特別損失合計	4	0
税金等調整前四半期純利益	1,640	1,769
法人税、住民税及び事業税	305	627
法人税等調整額	73	4
法人税等合計	378	631
四半期純利益	1,261	1,137
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	40
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,249	1,096

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	1,261	1,137
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	402	187
繰延ヘッジ損益	8	1
為替換算調整勘定	202	507
退職給付に係る調整額	40	31
持分法適用会社に対する持分相当額	△63	702
その他の包括利益合計	589	1,430
四半期包括利益	1,851	2,567
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,837	2,528
非支配株主に係る四半期包括利益	13	39

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	15,020	1,804	22,666	1,187	40,678	788	41,466
中国	509	20,913	917	1,548	23,889	—	23,889
その他	1,217	1,228	880	137	3,463	—	3,463
顧客との契約から生じる収益	16,747	23,946	24,464	2,873	68,031	788	68,819
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	16,747	23,946	24,464	2,873	68,031	788	68,819
セグメント間の内部売上高又は振替高	26	38	9	—	74	—	74
計	16,773	23,984	24,474	2,873	68,106	788	68,894
セグメント利益又は損失(△)	352	900	430	△221	1,462	13	1,476

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	1,462
「その他」の区分の利益又は損失(△)	13
セグメント間取引消去	△35
全社費用(注)	20
四半期連結損益計算書の経常利益	1,461

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	第一事業	第二事業	第三事業	自動車・ 電池材料事業	計		
売上高							
日本	17,518	2,876	26,651	1,219	48,265	830	49,095
中国	644	24,182	822	1,873	27,523	—	27,523
その他	1,505	1,420	1,166	107	4,200	—	4,200
顧客との契約から生じる収益	19,667	28,480	28,640	3,200	79,989	830	80,819
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	19,667	28,480	28,640	3,200	79,989	830	80,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	18	62	76	—	157	1	158
計	19,686	28,542	28,716	3,200	80,146	831	80,977
セグメント利益 又は損失(△)	690	917	542	△362	1,788	△2	1,785

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	1,788
「その他」の区分の利益又は損失(△)	△2
セグメント間取引消去	△39
全社費用(注)	△7
四半期連結損益計算書の経常利益	1,738

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び営業外損益であります。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、当社グループの第一事業及び第三事業の組織再編を行いました。第一事業は樹脂・難燃剤事業部の樹脂事業を第三事業に移管して難燃剤事業部に改称し、機能建材事業部を第三事業から編入致しました。第三事業は高機能素材事業部を三分割し、それぞれ高機能素材事業部、機能化学品事業部、第一事業から編入した樹脂事業と統合して合成樹脂事業部と致しました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

詳細につきましては、「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご参照ください。